

ウラディーミル&ヴォフカ アシュケナージ

ピアノ・デュオリサイタル

シューベルト：ハンガリー風ディヴェルティメント
F. Schubert : Divertissement à l'hongroise op. 54, D. 818

ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲
J. Brahms : Variationen über ein Thema von J. Haydn op. 56b

ボロディン：だったん人の踊り
A. P. Borodin : Polovetsian Dances

ストラヴィンスキー：春の祭典
I. F. Stravinsky : Le sacre du printemps

Wladimir & Wouka Ashkenazy

2014 **3/9** 日 PM 2:00

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥12,000 A ¥10,000 B ¥8,000
C ¥6,000 D ¥5,000 学生 ¥2,500 (税込)

学生券 ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

■プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催 / 中京テレビ放送 企画・運営 / 中京テレビ事業

お問合せ
お申込み **中京テレビ事業 ☎052-957-3333**

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM10:00~PM5:00 / 土・日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業

座席表からお席をお選びいただけます!

5/25 (土) 発売開始!
AM10:00~

チケット販売所

中京テレビ事業チケットセンター	052-320-9933
チケットぴあ (Pコード 196-761)	0570-02-9999
ローソンチケット (Lコード 48162)	0570-084-004
愛知芸術文化センター-PG	052-972-0430
栄プレチケ92	052-953-0777
e+ (イープラス)	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
中日サービスセンター	052-263-7282
	他 有名プレイガイド

巨匠アシュケナーズのピアノが再び!

ウラディーミル・アシュケナーズのピアノが再び帰ってくる!

なんと19年ぶりとなるピアノ・リサイタルがデュオで実現します。近年は指揮者としての活動が主となり、協奏曲の弾き振りなどでしか機会のなかったアシュケナーズのピアノ。

熱望されていた演奏がようやく聴ける!信用する息子ヴォフカとともに、2台のピアノで紡ぎ出す絶妙のアンサンブル。ピアノ・デュオならではのオーケストラにも匹敵する迫力と多彩な響きが魅力です。

2011年、大絶賛を浴びたデュオ・リサイタルがいよいよ名古屋で!

ウラディーミル・アシュケナーズ

Vladimir Ashkenazy



1955年ショパン・コンクールにて世界にその名を知らしめて以来、ウラディーミル・アシュケナーズは、ピアニストとして傑出したキャリアを誇るだけでなく、アーティストとして多彩な活動を積極的に展開し、世界の音楽愛好家に感動を与え続けている。クリーヴランド管弦楽団首席指揮者、ベルリン・ドイツ交響楽団首席指揮者・音楽監督、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、NHK交響楽団の音楽監督を歴任、2009年1月よりシドニー交響楽団の首席指揮者・音楽アドバイザーに就任。また、桂冠指揮者を務めるフィルハーモニア管弦楽団、NHK交響楽団、アイスランド交響楽団や、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団などの指揮台に定期的に登場している。またEUユース・オーケストラの音楽監督も務め後進の育成にも力を注いでいる。ピアニストとしてのアシュケナーズは、舞台を主にレコーディング・スタジオに移して、1999年グラミー賞を受賞したショスタコーヴィッチ「プレリュードとフーガ」や、バッハ「平均律クラヴィア曲集」、ヴォフカ・アシュケナーズとのフレンチ・デュオ作品集などに見られる様に、多彩で広範囲にわたる作品の録音に、献身的に取り組み続けている。最新のリリースは、来日記念盤のヴォフカとの「ロシアン・ファンタジー〜2台のピアノのための作品集II」、ソロ録音はラフマニノフの作品集。

ヴォフカ・アシュケナーズ

Vovka Ashkenazy



モスクワ生まれ、アイスランドと英国に育ったヴォフカは、幼少よりピアノをはじめ、やがてロイヤル・ノーザン・カレッジにてスラミータ・アロノフスキーらに師事。1983年にバービカンセンターにて、リチャード・ヒコックス率いるロンドン交響楽団とチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番を共演しロンドンデビューを飾って以来、多岐に渡る活動を繰り広げている。近年では、セミヨン・ビシュコフ、マルティン・フィッシャー=ディースカウ、スタニスラフ・スコロヴァチェフスキらと、ハリウッド・ボウル、シドニー・オペラハウス、ベルリン・フィルハーモニーなどにて共演。室内楽奏者として、ヴァシリス・ツァブロプロス、レイキャビク木管五重奏団、ディミトリ・アシュケナーズらと共演、録音も行っている。ウラディーミル・アシュケナーズとのピアノ・デュオとしてデッカより2009年にリリースされたフレンチ・デュオ作品集は、各方面から高い評価を得ている。コンサート活動の傍ら、オーストラリア、デンマーク、イギリス、ギリシャ、グアテマラ、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、米国などでマスタークラスを開催するなど、教育活動にも力を注いでいる。